

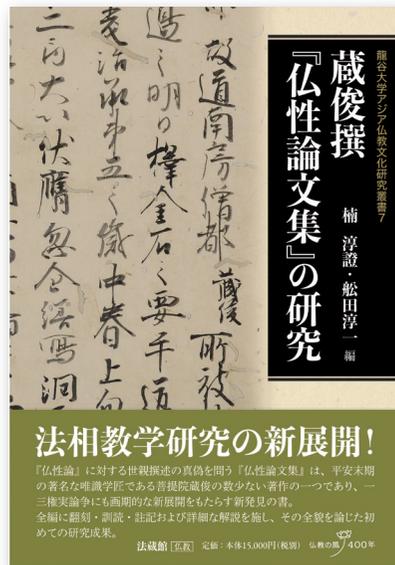
ぞうしゆん ぶつしようろんぶんしゆう

# 蔵俊撰『仏性論文集』の研究

楠 淳證・船田淳一 [編] ▼A5判・上製カバー・四一六頁 本体 一五、〇〇〇円十税

平安末期の唯識学匠・菩提院蔵俊の数少ない著作『仏性論文集』。全編に翻刻・訓読・註記および詳細な解説を施し、その全貌を論じる。

2019年3月刊行



法相教学研究の新展開!

「仏性論」に対する世親撰述の真偽を問う『仏性論文集』は、平安末期の著名な唯識学匠である菩提院蔵俊の数少ない著作の一つであり、一三様実論争にも画期的な新展開をもたらす新発見の書。全編に翻刻・訓読・註記および詳細な解説を施し、その全貌を論じた初めての研究成果。

■楠 淳證(くすのきじゆんしゆう) 一九五六年生まれ。兵庫県出身。龍谷大学文学部仏教学科卒業、龍谷大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学、龍谷大学専任講師、助教授を経て、現在、龍谷大学文学部教授、アジア仏教文化研究センター長。専門は仏教学、特に唯識教学。

■船田淳一(ふなたじゆんいち) 一九七七年生まれ。鳥取県出身。龍谷大学文学部史学科卒業、佛教大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士(文学)。現在、金城学院大学文学部教授。専門は日本中世宗教思想史。

序 辞 (楠 淳證)  
凡 例

## 第一部 総 論

第一章 蔵俊撰『仏性論文集』の書誌  
解題と歴史的位相 (船田淳一)

第二節 本帖の題名と奥書の検証  
第二節 『仏性論文集』の成立に関する検証—貞慶自筆写本であるか否か—

第三節 『仏性論文集』の問題点  
第四節 貞慶による南都復興と本帖の書写

第一項 南都廃滅と若き貞慶の修学  
第二項 蔵俊(平安)から貞慶(鎌倉)へ—法相教学の継承—

第二章 蔵俊撰『仏性論文集』の思想的特色 (楠 淳證)

第一節 『仏性論』の作者をめぐる学界の異義  
第二節 『仏性論文集』における「訳者

## 真諦加増説

第三節 『仏性論文集』における「有性説」の会通—理仏性・行仏性—

第四節 『仏性論文集』における「二乗融会」の萌芽的思想

## 説」の展開

第四節 『仏性論』の構成

第三章 天台宗の論難と蔵俊の反論

第一節 玄奘の宗を「二乗仏性」とする天台宗の論難

第二節 玄奘の宗を「五姓宗法」とする蔵俊の反論

第三節 慈恩「観音後身説」に基づく正統性の主張

第四節 唯識正統論と二乗五姓融会論

## 第二部 蔵俊撰『仏性論文集』の翻刻読解研究

序 章(表表紙に付された後補題箋)

第一章 世親造『仏性論』の翻訳に関する疑義

第一節 弥勒造『瑜伽師地論』と世親造『仏性論』の背反

第二節 「訳者真諦加増説」の提示

第三節 「訳者真諦加増説」の検証

第二章 世親造『仏性論』における仏性義の検証

第一節 部派説と仏性義

第二節 理仏性と行仏性

第三節 諸伝記による「真諦訳誤謬

## 結 章(奥書)

編集後記 (船田淳一)

担当一覽  
執筆者紹介

「龍谷大学アジア仏教文化研究叢書」刊行について (楠 淳證)

## 索引

注文書	様 冊
(書店印)	ご担当
法藏館	本体 一五、〇〇〇円十税
蔵俊撰『仏性論文集』の研究	楠 淳證・船田淳一 [編]
ISBN:978-4-8318-6375-1 C3015	
お電話	住所
お名前	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏 教 学